

令和4年度 課の運営方針書

消防本部 警防課

1 課の運営方針

【課の使命】

消防力の三要素、水利・施設・人員について平衡化を図るとともに、頻発する大規模自然災害等に即応できる体制強化と、消防団をはじめ危機管理機関等との連携を密にし、市民の安心・安全の確保に努めます。未だ収束の見えない新型コロナウイルス感染症についての対応は、県及び医療機関、周南地域メディカルコントロール協議会等と連携を強化し、適切な感染対策と救急業務の維持、確保に努めます。

【課の目標】

①救急業務の機能維持、強化

救急救命士の養成、認定及び救急隊員の教育体制の充実に指導救命士の養成を行います。感染症に対する救急隊員の教育と装備の充実強化、救急搬送体制の維持及び強化のため周南地域メディカルコントロール協議会等を通じて医療機関等と密に連携を図ります。

②危機管理機関等との連携強化

大規模災害等、有事の際に連携が不可欠となる消防団及び他の危機管理機関等と連携を図るため実践的な訓練を行い、体制強化に努めます。また、緊急消防援助隊に係る応援受援体制について迅速かつ適切な運用を図ります。

③消防水利の整備・維持保全

消防水利(消火栓・防火水槽等)の整備及び維持保全に努めます。

④コンビナート事業所等との連携強化

大規模災害等の有事の際に不可欠な消防力の確保のため、コンビナート事業所の自衛消防組織の消火技術の指導を通じてスキルアップと連携強化に努めます。

【行財政改革への取組み】

働きやすい職場環境の整備や課内における業務の相互補完を行うことでWLBを推進し、休暇の取得や時間外勤務の低減を目指します。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

(警防企画担当) 防災関係機関及びコンビナート事業所と有事の際の想定訓練等を企画し、連携強化を図ります。また、消防力の1つ消防水利の整備、維持保全に努めます。併せて、緊急消防援助隊に関する業務を行い消防応援受援体制を確保します。

(救急担当) 救急救命士養成、認定、生涯教育を計画的に実施し、救急救命士の質の維持向上に努めます。また、救急隊員の教育について、指導救命士を養成し、教育の充実に努め、市民の安心・安全に努めます。周南地域メディカルコントロール協議会を通じて、救急搬送受入医療機関の確保及び感染症に対する予防対策の強化並びに搬送医療機関等と密な連携を図ります。コロナ禍による市民の応急手当について普及啓発に努めます。

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	8 人	うち	正職員	8 人	・	会計年度 任用職員	人	人件費	正職員	57,240 千円	会計年度 任用職員	千円
-----	-----	----	-----	-----	---	--------------	---	-----	-----	-----------	--------------	----

※R2職員平均給与(7,155 千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	50,901 千円	歳出予算額	72,354 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	3 事業
-------	-----------	-------	-----------	-------------	---------	------

4 課の中期目標（優先順） 第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	4安心安全 2消防・救急体制の充実 2救急救助業務の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○救急救命士の養成、ビデオ喉頭鏡認定養成、指導救命士の養成によって救急業務の質の維持向上を図ります。 ○メディカルコントロール体制を強化するとともに医師の指導、教育の場を確保し救急業務高度化を推進します。 ○救急・救助隊員の知識・技能の向上に必要な教育訓練を企画し、人材育成に努めます。 ○応急手当の重要性について講習会等を通じて市民への普及啓発に努めます。
2	4安心安全 2消防・救急体制の充実 1消防力の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○消火栓や防火水槽等の消防水利について、整備・維持保全に努めます。 ○コンビナート事業所の自衛消防組織と相互に連携を図り有事の際の消防力の確保に努めます。 ○消防団及び危機管理機関等と実践的な訓練を実施し、連携強化に努めます。